

-第3期-

“ポテンシャルを活かして貢献する人材”をつくる

創造する！

革新する！

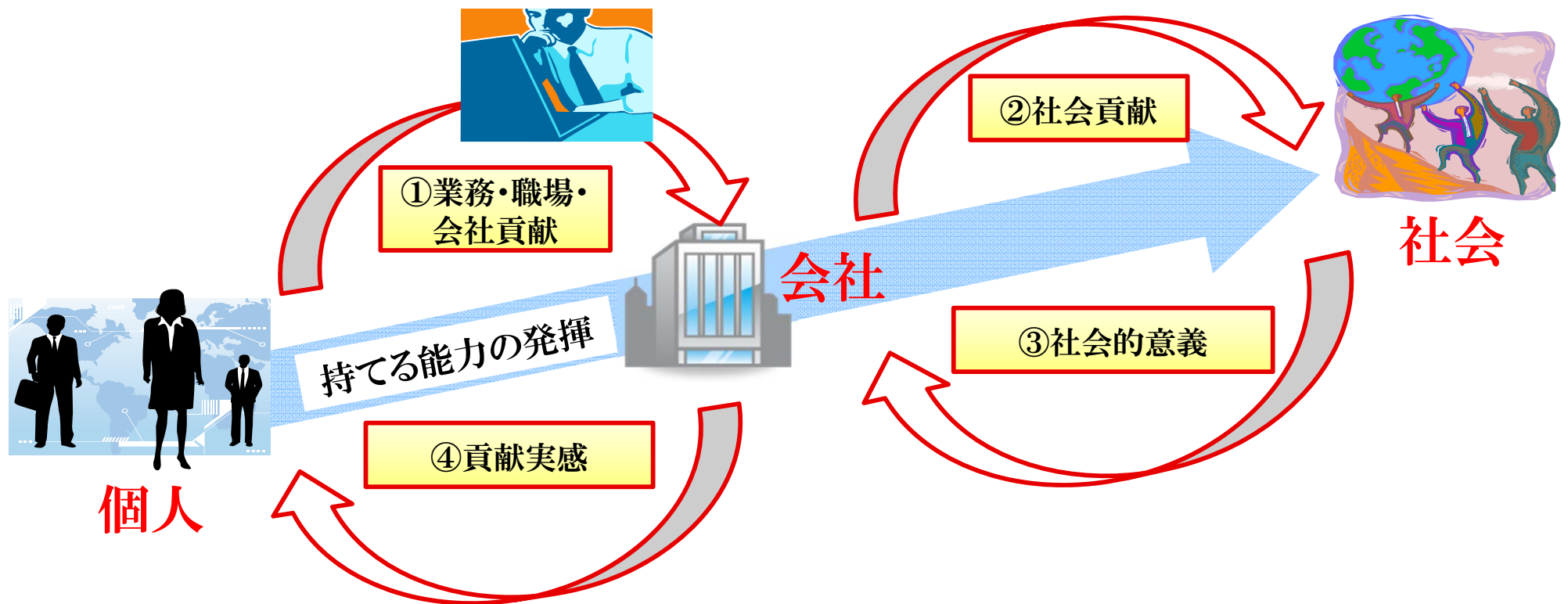
意の探索隊



JMA Consultants Inc.

「貢献したい！」という社員の“意”を引き出し、
会社の成長・存続の力に換える経営

～ “貢献実感”を得ながら社員が自分らしくイキイキと働いている会社を目指して ～



「発意」に溢れる職場 とは

自分が置かれている状況の中で、自身の可能性を引き出し、
創造や革新につながる行動を自ら始めて貢献する人が多い職場

1. リーダーは 職場を **発意集団** に変える。

⇒ 職場のポテンシャルを引き出し、発意の **きっかけ** を作り出す。

2. メンバーは 自ら **発意の人** になる。

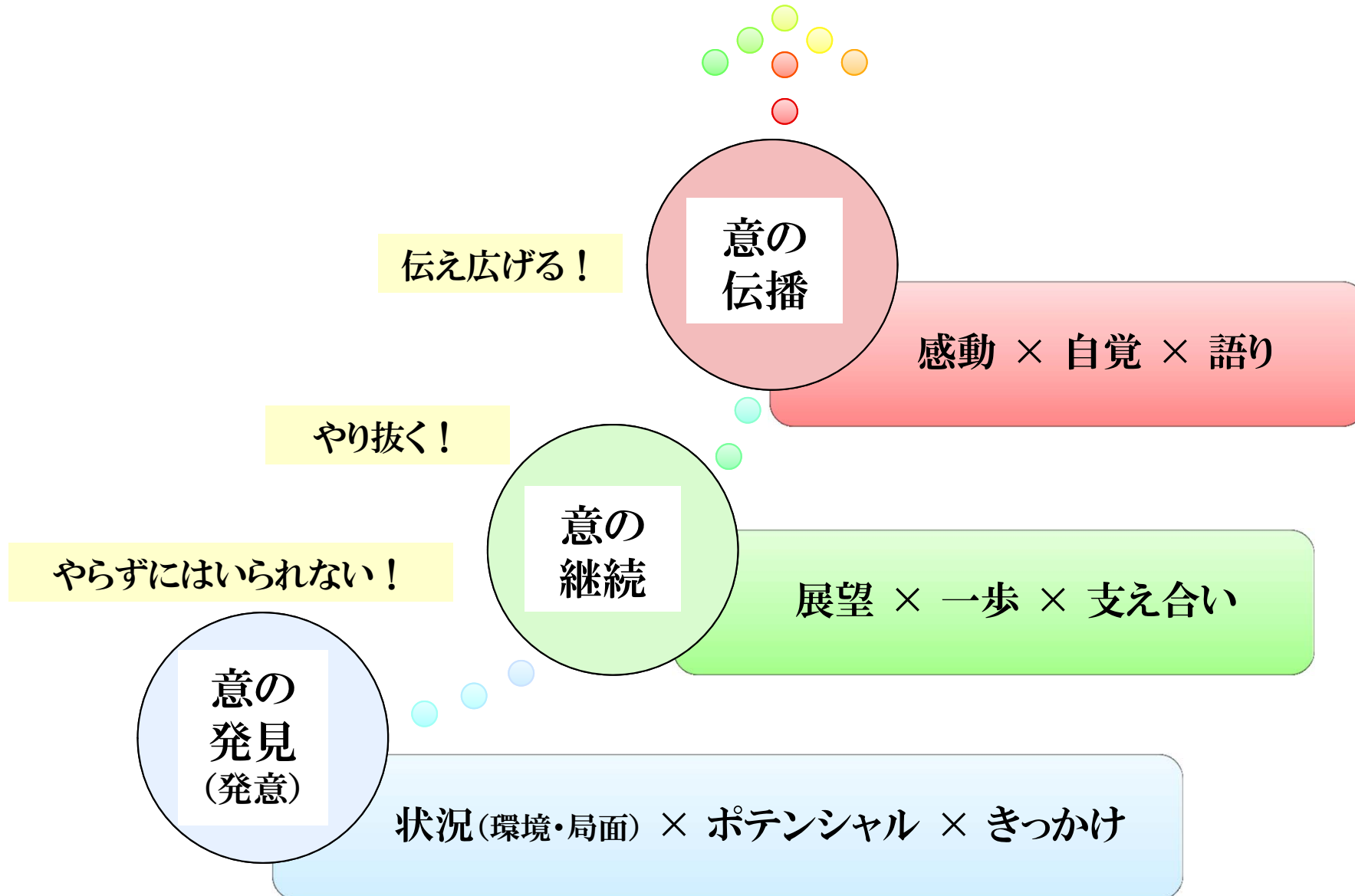
(1) 会社の方針や課題を 自分にとって**意味づけ**、貢献したいことを発案する。

(2) **仲間の発意** を支えることで 自身の貢献フィールドを拡大する。

⇒ 支える意 も 発意の一部。

意のマネジメント ～3つの要素とそのメカニズム～

「意を活かす経営」の実現



やるべきことに追われて、「革新」・「創造」的アイデアが出てこない…
何かを「したい!」と思ってもカベにぶつかり、へこたれてしまう…

働く人の「意」(=貢献したい!という思い)を活かすマネジメントが重要になっています。

自分の「意」はどこにあるのだろうか…?

部下の「意」を引き出し、発揮させてあげたいがどうしたらよいだらう…?

それらを、社会(社外)との交流・対話を通して学ぶ場を用意致しました。「意の探索隊」は「実践・振り返り・発信」をセットにした体感型の活動です。

チームメンバーと語り合う中で、「意」の開発技法を実践的に身につけられるだけでなく、自分の「意」を発見するきっかけにもなります。

働く人の「意」にフォーカスした、ソーシャル・ラーニング
「意の探索隊」にぜひご参加下さい!

このような方にオススメです

● 自ら考え、自社に貢献してくれる社員を育てたい育成責任者の皆さま

- ✓ いまの教育施策が空回りしている…
- ✓ 受け身な教育ではなく、創造性や革新マインドを刺激する教育を探している…
- ✓ 困難な状況でも、自分で考え、仲間と支え合い、動ける社員になってほしい…

まずは育成担当者自ら
ご参加いただき、
プログラムのユニークさを
確かめてください！

● 社員が自ら考え、自ら業務・組織への貢献に向かうような組織にしたい管理者の皆さま

- ✓ 方針を出しても伝わらない…
- ✓ 新しいことを始めても、形式的にこなしてしまう…
- ✓ 仕事の目的を考えていないせいで、ミスやクレームを引き起こしている…
- ✓ 隣の席の人が何をやっているのか知らない…
- ✓ 怒声や愚痴ばかりで、わくわくするような雑談が減った…

彼(彼女)がもうひと伸びすれば、
職場にとって価値が大きいのに…
という部下を、
ぜひお送りください！

● 自分のやりたいことがハッキリせず、今後、自分がやるべきことを改めて考えたい皆さま

- ✓ 昔は希望を抱いてこの会社に入ったけど…
- ✓ わたしは役に立っているんだろうか？と不安になる…
- ✓ やりたいことはあるけど、職場の皆に言い出せない…
- ✓ 定年前に、何かを会社に残したい…
- ✓ 自分のキャリアについて一度じっくり考えてみたい…

ぜひ自らご参加いただき、
他社から集まったメンバー
と共に今後の貢献イメージ
を描きましょう！

「意の探索隊」の目的

自分の主体的な「意」を持ち、
“自身の持ち味を活かして貢献できる” 人づくりを目指しています。

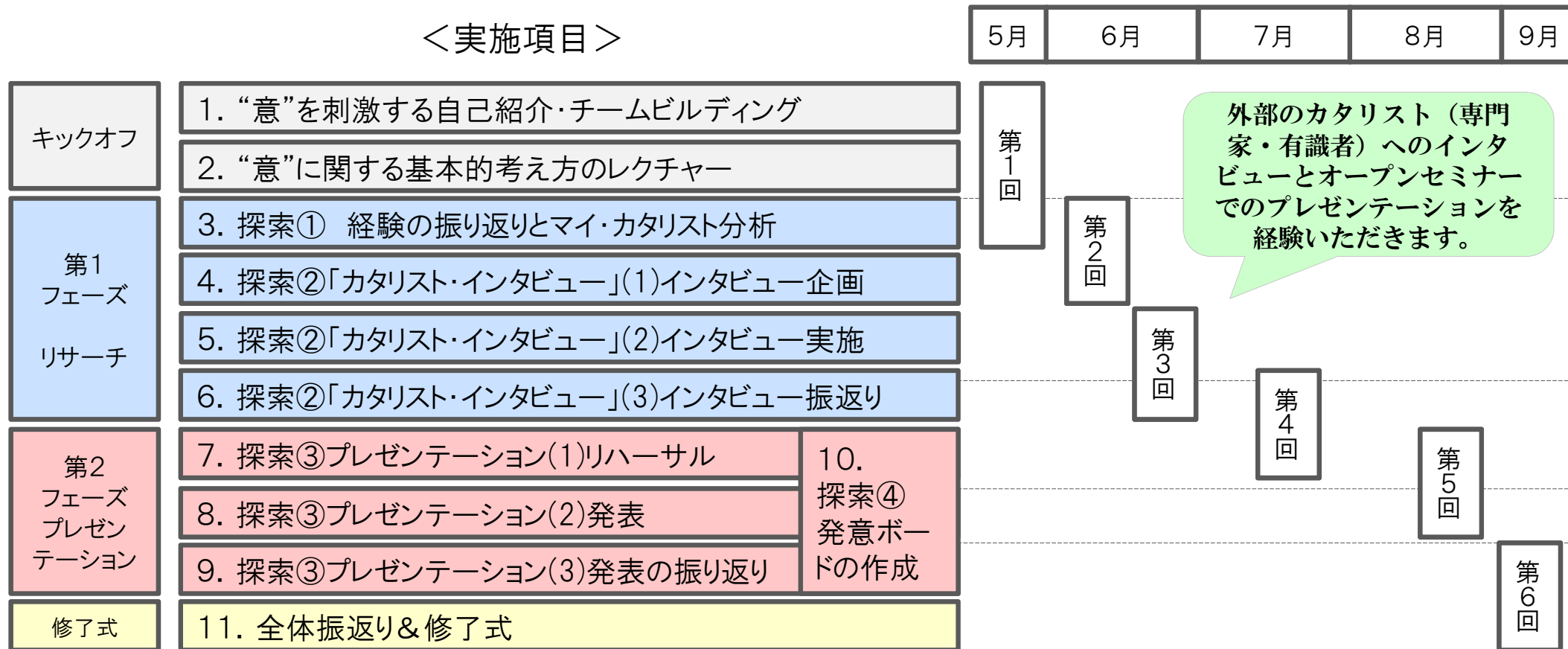
(1)自分自身の“意”を見つめ、
今後の自身の職場・会社・社会に対する
新たな貢献イメージが描ける。

(2)自分・他者の“意”を引き出し、強め、発揮させる為の
マネジメント手法を身に付ける。

「意の探索隊」の全体像

- ◆約4か月間、計6回のプログラムです。
- ◆各回は、原則13:00～17:00の4時間です。(例外あり)

<実施項目>



※各回に、振り返り等の事後課題があります。

※「カタリスト」とは、“触媒(化学反応を促進するもの)”を意味する英単語(catalyst)に由来し、意の探索隊では、自分の意について“語る人”、かつ、“参加者の意に影響を与える人”という意味で使用しています。

※チーム編成について：第2回～第3回のリサーチフェーズで、芸道関係者のカタリストにインタビューするチームを「芸道隊」、スポーツ関係者のカタリストにインタビューするチームを「スポーツ隊」と呼びます。

「意の探索隊」の中の3つの探索行動



明日の発意へ
~新たに始める!~

③今を探索

自分のミッションと照らしてひらめいた探索行動アイデアを蓄積する~発意の種~
(発意ボード)

②外を探索

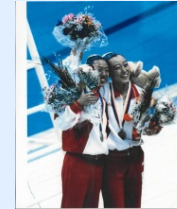
カタリストの体験から発意の瞬間を疑似体験する(カタリスト・インタビュー)

①過去を探索

自身の過去をひもとき意のメカニズムを実感する
(マイ・カタリスト分析)

田中ウルヴェ 京（たなかうるゑ みやこ）

メンタルトレーナー／慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究員／国立鹿屋体育大学客員教授（スポーツ心理）



<経歴>

1967年東京都港区白金台生まれ。6歳で水泳を始め、10歳でシンクロナイズドスイミングに転向。幼少のころから数々のタイトルを獲得。15歳で史上最年少の日本代表Aチーム入り。その後も国内外の大会でタイトルを複数獲得し、1986年日本室内選手権、日本選手権ソロチャンピオン、1988年にソウル五輪シンクロ・デュエットで銅メダル獲得。1989年都民栄誉章受賞。五輪後、現役を引退し、ミズノ株式会社に勤めながら、1989年～1999年日本代表チームコーチ、アメリカ五輪ヘッドコーチアシスタント、フランス代表チーム招待コーチを歴任。

1991年より渡米、米国カリフォルニア州セントメリーズ大学大学院健康・体育・リクリエーション学部修士課程修了。1992年バルセロナ五輪、2000年シドニー五輪、2001-2007年世界水泳シンクロテレビ解説者 1996年アトランタ五輪日本代表チームアシスタントコーチ 1997年にフランス人のウルヴェ氏と結婚。

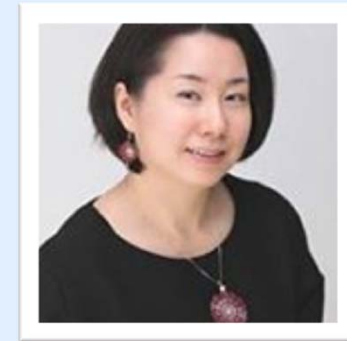
1999年からは米国アーゴジー心理専門大学院にて、認知行動療法、スポーツカウンセリングを、2000年米国サンディエゴ大学院にて、パフォーマンスエンハンスメント、アスレティックリタイアメントを学ぶ。

2001年、心身の健康をテーマに起業。心の健康をサポートする サービスとして、アスリートからビジネスパーソンなど広く一般にメンタルトレーニング指導をおこなうほか、身体健康促進・生涯健康の普及を目指し、ピラティス専門スタジオ「ボディバランス」を東京・白金台にて経営。ピラティス指導者、ゴルフピラティス指導者の 公認指導者育成にも力を入れた。

2013年に社名を株式会社ポリゴンに変更。メンタルトレーニング事業と、ピラティスエクササイズ事業を基軸に活動している。日本オリンピック委員会、日本女子プロゴルフ協会、Jリーグなどで選手やコーチへのメンタルトレーニング研修をおこなうほか、企業研修、講演、著書訳書多数。ピラティスでは、日本ピラティス指導者協会(JAPICA)理事として、指導者育成の運営に携わる。メディアでは、雑誌連載や報道番組でコメンテーターとしての出演も多く、現在、TBS「Nスタ」火曜レギュラーコメンテーター。夫はフランス人、二児の母である。

小島 ゆり 漆壺斎継承者

寛永16年(1639年)、松平直政公が出雲に転封になった翌年、小島家初代清兵衛が京都より招聘される。
五代清兵衛は、松平不昧公(1751~1818)の命により江戸に赴き、原羊遊斎(はら ようゆうさい)に師事し蒔絵を学ぶ。
不昧公お好みの茶器などを製作し、漆壺斎(しっこさい)の号を賜る。
十二代目にあたる。



1975年 島根県松江市生まれ

幼少より祖父六代小島漆壺斎(十代目)より漆の手ほどきを受ける。

1996年 父七代小島漆壺斎(十一代目)に師事

1998年 東京大学文学部歴史文化学科美術史学卒業

2002年 Yuri Kojima ブランド設立

株式会社ベルーナにて、商品企画6年、

株式会社リクルートにて、商品企画、受注管理など4年行う。

2010年 Yuri Kojima 漆 Design 設立

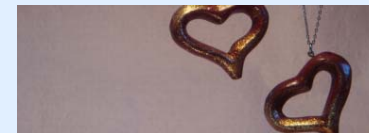
CARROUSEL DU LOUVRE, Paris, France

(カルーゼル・ド・ルーブル/フランス・パリ)など国内外の展示会に出展。

ギャラリー、百貨店、などにて展示販売。

Yuri Kojima 漆 Design URL: <http://yurikojima.net/link.html>

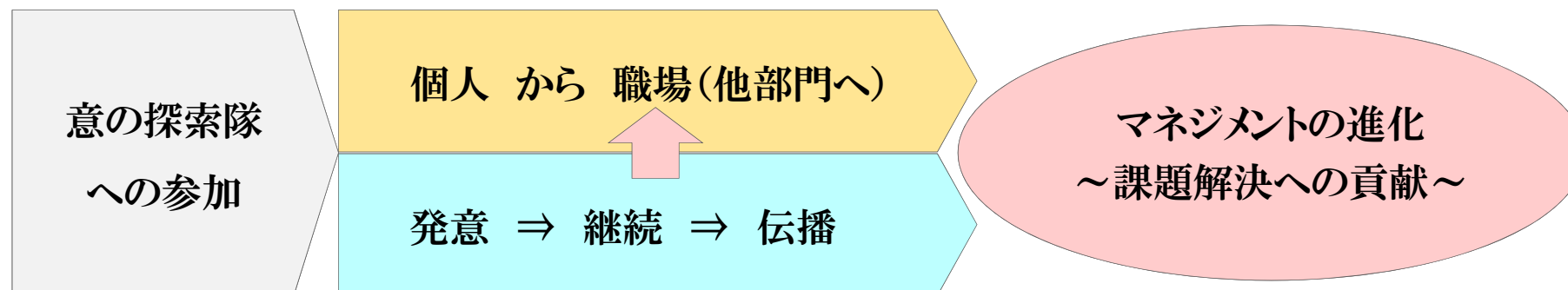
<作品例>



1. 会社や自身のポテンシャルに気づき、“もっとやれる”という自信が出てきた。
2. 同僚や部下・後輩のポテンシャルに目を向け、それを引き出すコミュニケーションを意識して行うようになった。
3. 自分の会社生活、人生、マネジャーとしての立ち居振る舞いの新たな「軸」「モノサシ」を獲得できた。
4. 自分が置かれている状況や自身の短所もポテンシャルの一部であることに気づき、発意して行動することへの過剰なためらいがなくなった。
5. 「偶然を楽しむ」ことの大切さが実感でき、変化にも落ち着いて向き合えるようになった。
6. 「発意ボード」は、これからの会社での貢献、自分の人生において、大切な記憶として残る作品になったと思う。
7. 最初はiikが何か分からなかったが、ワークと語り合いの中で実感が深まり腑に落ちた。
8. iikとの出会い、意の探索隊メンバーとの出会いに感謝している（「意の探索隊」が終わることが名残惜しい）。

意の探索隊 コース一覧

| No | コース名 | 回数(期間) | 概要 | 主な内容 |
|----|-------------------|--------|---|---|
| 1 | 意の探索隊 (企業間コース) | 6回(半年) | 各社のメンバーが参加してiikのプログラムを網羅的に深く体験できるコースです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ポテンシャルの発掘 ●カタリスト・インタビュー ●発意ボード作成 ●社外プレゼンテーション |
| 2 | 意の探索隊 (企業内コース) | 6回(半年) | 社内横断メンバーが参加して推進するコースです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ポテンシャルの発掘 ●発意ボード作成 ●社内プレゼンテーション |
| 3 | ポテンシャル発掘コース | 1回 | 職場と個人のポテンシャルの発掘に特化した基礎コースです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●会社カタリスト分析 ●マイカタリスト分析 |
| 4 | シニアiik実践コース | 2回 | シニア人材が自らの経験を振り返り今後の貢献のあり方を発見するコースです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ポテンシャルの発掘 ●発意ボード作成 |
| 5 | iik交流会 | 任意 | 各コース修了者のアドバンスコースです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●iik事例紹介 ●交流 |



コンサルタント プロフィール

伊藤 晃(いとう あきら)

1983年、株式会社日本能率協会(現 株式会社日本能率協会コンサルティング)入社。
2008年 人材マネジメント事業部長 シニア・コンサルタント
2011年 経営戦略本部 副本部長 シニア・コンサルタント
2013年 人材・組織コンサルティング事業本部 本部長 シニア・コンサルタント
2014年度より iik推進センター センター長 シニア・コンサルタント



業務改革の推進コンサルティングを中心に経験を積む。企業独自のコア・バリューと直結した「知恵と活力を高める」人材マネジメント革新を支援。“組織や制度を変えても人の意識・行動がプラスに変化しなければ革新ではない”という見方を重視し、組織学習体質を強化するためコンサルティングを展開してきた。

現在は iik 「意を活かす経営」を提唱、その実現を支援している。

支援業界は自動車、運輸、繊維、製紙、製薬、精密機械、銀行、商社、不動産、生保、IT、電力、新聞、大学、流通、経済連等多岐に渡っている。

■コンサルティング等 主要テーマ

- ・iik「意を活かす経営」の推進支援
- ・人づくり戦略立案、実行支援
- ・人材マネジメント諸制度改革と運用支援
- ・ニューコア人材、次世代リーダー育成



「i」は、勇み立つ人、「k」は、支え合う姿

■主要著書等

- ・『キヤノンの人事革新がすごい!』(あさ出版 2005年4月)
- ・『人と組織の持続的成長を実現する成果主義の新展開』(共著/日本能率協会マネジメントセンター2006年11月)
- ・企業における人材育成の考え方と実践ポイント(東京都政策課題ライブラリー8 2006年3月)
- ・『労政時報 第3825号(2012. 7. 13) 中堅・中小企業における人材育成の推進ポイント』
- ・第44回(1993年)全日本能率連盟発表論文で「通商産業省産業政策局長賞」受賞

<第3期(2015年5月～9月)参加者を募集します！>

【お申込み方法】

お申込みは、以下の内容を記載の上、メールにてお願いします。

- ①会社名・部門名、②申込者氏名（ふりがな）、③役職、
- ④会社住所（所属部署まで）、⑤電話番号、⑥メールアドレス、
- ⑦参加者の部門名と氏名（申込者と同じ場合は不要）

申込み・問合せ先

株式会社日本能率協会コンサルティング iik推進センター 伊藤 晃 宛て
TEL; 03-5219-8063 FAX; 03-5219-8066 e-mail ; iik_jmac@jmac.co.jp

- ◆お申込み前に必ずお読みください。
- ・本コースは、ビジネスパーソンを対象としています。
- ・定員になり次第、締切とさせていただきます。
- ・お申込み後、弊社より改めて正式な申込書をお送りさせていただきますので、そちらにご記入・ご返送いただきますと、正式にお申込み完了となります。その後、請求書をお送りいたしますので、請求期日までに参加費用を記載の銀行口座へお振込みください。（振り込み手数料は、貴社にて負担願います。）
- ・※参加費用につきましては、上記までお問い合わせください。
- ・諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- ・同業者はお断りさせていただく場合があります。

開催場所

★意の探索隊は、日本能率協会コンサルティング セミナールームにて行います。

〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル11階
TEL : 03-5219-8050
FAX : 03-5219-8066

アクセス :

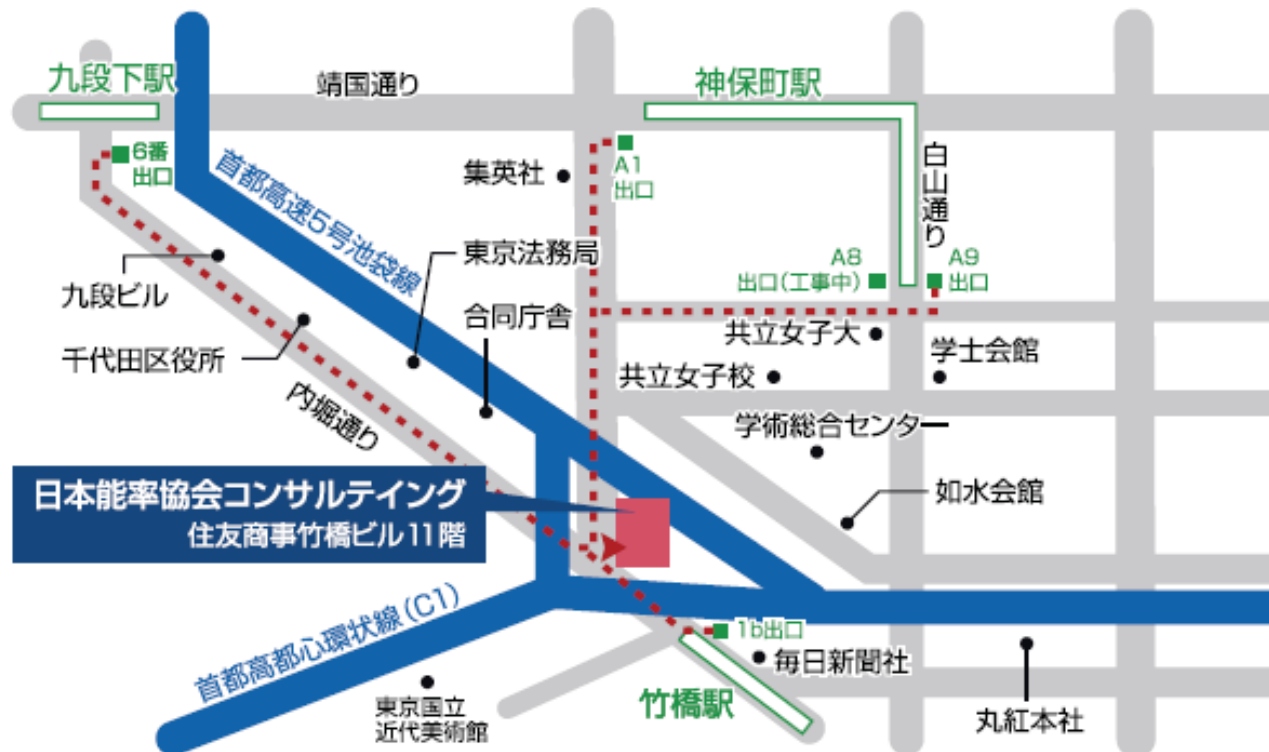
(電車) 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口徒歩1分

都営新宿線・三田線、東京メトロ半蔵門線「神保町駅」A9出口徒歩5分

※都営新宿線、半蔵門線はA1出口都営三田線はA9出口が便利です。

※A8出口はただ今、工事のためA9出口をご利用ください。

都営新宿線、東京メトロ東西線、半蔵門線「九段下駅」6番出口徒歩8分



倒れても自分で起き上がる、
しなやかな人になろう

©2015 *JMA Consultants Inc.* 禁無断複製・転載

